

科目名称	老年看護概論	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		25
担当教員	森 万純 ・ 池田 絵里	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

高齢者を身体的・精神的・社会的に捉えることにより「老い」について理解を深め、「老い」をポジティブに捉える視点を養う。また、サクセスフルエイジングのための老年看護の専門性を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化とその特徴を理解できる。
2. 高齢者の健康生活を支える社会システムとその課題を理解できる。
3. サクセスフルエイジングのための看護の役割について考えることができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	老いとは 加齢に伴う身体的、心理的・精神的変化	講義 ワーク
2	加齢に伴う身体の変化・特徴と日常生活への影響	講義
3		
4		
5		
6	高齢者を取り巻く社会	講義 ワーク
7	高齢社会の統計的理解 高齢者の健康問題	講義
8	保健医療福祉のしくみ	講義
9	高齢者の権利擁護	講義
10	変化する高齢者看護の場	講義
11	高齢者看護の原則	講義
12	高齢者看護の原則	講義
13	筆記試験 (45 分)	

【5】 評価方法

1. 筆記試験、レポート、授業に対する取り組みの積極性で評価する。

【6】 教科書

小池 妙子 他著 「看護学入門 11 老年看護」 メヂカルフレンド社 2024 年

【7】 参考書

資料は必要に応じて配付する。

【8】 受講生へのメッセージ

課題は授業の中で指示する。